

Weekly Report

# 東京お茶の水ロータリークラブ



2024-25年度RI会長 ステファニー A. アーチック  
**ロータリーのマジック**  
 第2580地区ガバナー 石川 彌八郎  
 隔たりを取り除き、「ご縁」を大切に

ロータリー活動を  
 最大限に楽しもう!

2024-25年度 クラブ会長 海江田 健司

## 本日の卓話 オープン例会

### 障害があっても堂々と生きられる社会をつくる

#### 株式会社華ひらく 代表取締役 内木 美樹様

司会進行  
 点鐘  
 君が代・我らの生業  
 ゲスト・ビジター紹介  
 ニコニコボックス報告  
 会長報告  
 幹事報告  
 出席報告

西村美智子会員  
 海江田健司会長  
 木宮 雅徳会員  
 日根野雅敏会員  
 西村美智子会員  
 海江田健司会長  
 中野 広行幹事  
 西村美智子会員

行いますが、多摩地区で初めて、ということで、ぜひ多くの皆様に参加していただければと思います。それから先ほど RI 会長代理が台湾の方になりました。どうぞよろしくお願いいたします。

#### 挨拶 東京神田 RC 吉村 俊之様

東京神田 RC から参りました。酒屋で、石川ガバナーと同郷です。東村山で酒を造っておりまして、清酒「金婚」を、神田明神様、明治神宮様の御神酒として納めさせていただいております。本日は素晴らしい会にご参加させていただきましてありがとうございます。今後どうぞよろしくお願いいたします。

#### 会長報告 海江田 健司会長

・3月12日、東京神田 RC との合同例会を、東京ドームホテル B1F「オーロラ」で行います。本日も案内を配布いたしました。ご出欠を事務局までお知らせください。

#### 幹事報告 中野 広行幹事

- ・2月度理事役員会を開催いたしました。
- ・確定申告書寄付金領収証を配布しました。再発行はできませんので紛失しないようにお願いいたします。
- ・次週2月12日はオンライン例会です。お間違えのないようよろしくお願いいたします。
- ・親子はねやすめ基金へのご協力ありがとうございます。

#### 出席報告

会員数	36名	ゲスト	2名
出席	18名	ビジター	4名
ZOOM	2名	合計	26名

#### ゲスト・ビジター

ゲストスピーカー  
 地区ラーニングサブファシリテーター  
 地区大会実行委員会実行委員長  
 地区大会実行委員会実行幹事  
 東京神田 RC  
 ゲスト

中嶋 弓子様  
 鈴木 隆雄様  
 小出 豊様  
 本郷 滋様  
 吉村 俊之様  
 小林 稔典様

#### ニコニコボックス

東京本郷 RC・地区大会実行委員会 小出様・本郷様  
 土居さんに地区大会のスピーチをお願いにきました。又、4月23日、24日の地区大会に全員参加でお願いします。本日の卓話は、自信の生活に参考に成ります。勉強させていただきます。  
 土居会員 高山会員 和田会員 山下会員  
 中嶋弓子様のお話を楽しみにしています。今日もよろしくお願いいたします。本日の卓話が楽しみです！また、多くのゲストの方にお出で頂きありがとうございます。ありがとうございました。

計 16,000 円 累計 736,187 円

#### 挨拶 地区ラーニングサブファシリテーター・東京江東 RC 鈴木 隆雄様

本日は土居さんからの誘いで伺いました。土居さんとの最近の話題は立法案です。立法案はベテランでないと何かわからないことがあるので、それを色んな所で話しをしています。よろしくお願いいたします。

#### 挨拶 地区大会実行委員会・東京本郷 RC 小出 豊様

今年度地区大会実行委員長を務めます。今日は実行幹事の本郷 滋と共に、土居さんに新入会員昼食会の卓話のお願いをしてお伺いしました。立川で地区大会を

# 東京おでかけプロジェクトの取り組みについて

## 東京おでかけプロジェクト代表 中嶋 弓子様

行ける場所より行きたい場所へ  
～難病の子どもと家族のための、  
心躍るおでかけイベントの開催～



### ■ 世界で一番赤ちゃんが安全に生まれる国、日本

日本は、世界で最も赤ちゃんが安全に生まれる国だと言われていますが(UNICEF 国連児童基金「Every Child ALIVE」レポートより)、医療技術が進歩する一方で、救える命が増えると同時に、人工呼吸器などの医療デバイスを日常的に必要とする医療的ケア児が増えています。また、医療的ケアがなくても難病疾患や障害がある子ども達を含めるとその数は約 25 万人、ご家族を入れると約 75 万人いると言われています。

治療のための長い入院生活を終えようやく自宅に戻っても、子ども達は「感染症のリスクが高いから、思いきり遊べない」「人工呼吸器など医療機器が必要だと、医療行為のできるスタッフのいない学校には断られて、通いたい学校に通えない」といった現実があります。ご家族も 24 時間 365 日、休む間もなく自宅や病院でケアに追われ、十分な睡眠をとることが出来ていなかったり、キャリアや自分の人生を諦めているという現状があります。特に、約 9 割の家庭で病気や障害がある子どものケアを主に担っているのは母親という調査結果もあり、さらにその 7 割は働きたいのに働けないでいる状態にあると言われています。昨今聞かれるようになった「ヤングケアラー」と呼ばれるきょうだい児たちも、親に代わってケアや家事を手伝ったり、遊んだり甘えたい気持ちを我慢して過ごしていることも多いです。

### ■ 行ける場所より行きたい場所へ、冒険しよう

少しずつ法制度や支援は充実してきたものの、「病気や障害、医療的ケアの理解が進んでおらず、偏見の目があること」が子ども達と家族の暮らしを困難なものにしていると私は考えています。福祉制度による日々のサポートも必要ですが、多くのサポートを必要とするケアが必要な子ども達は「街の中に理解してくれるサポーターを増やしていくこと」が成長していく上でも大切であり、親御さんたちは「自分に戻れる自分だけの息抜きの時間」を持つことを必要とされています。「医療的ケア児者とその家族の生活実態調査(厚生労働省)」でも、家族ニーズの第一位が「家族一緒に外出や旅行をしたい」、第二位「自分のための時間を持ちたい」としてあげられています。

このような課題に対して、東京おでかけプロジェクトでは「行ける場所より、行きたい場所へおでかけしよう」を合言葉に、医療や福祉・教育専門職だけではなく、街の人たち・素敵な施設の協力を得て、全国の心躍る場所でご家族のおでかけイベントを開催しています。

### ■ 冒険の舞台は、こどもの本専門店や高級なバラの専門店に、世界遺産まで

家族向けには家族の”はじめて”のおでかけを応援しようと神保町にあるこどもの本専門店「ブックハウスカ

フェ」を貸し切り、プロの声優を呼んでの絵本のおはなし会やカレーパン付き交流会を開催しています。「出産してから数年間病院に入院していたから、お家に帰ってからも家族でのおでかけは怖くて病院か近くのコンビニまで。素敵な絵本を子どものために探したい」そんな声からはじまったイベントでは、スタッフが入念に、バギーが通れるか、オムツ交換ができる場所はあるか?に加え、光や音の環境などもお店側と確認し、当日はご家族が安心しておでかけできるよう医師や看護師、教師などを目指す学生おでかけサポーターがイベント中はもちろん、ご自宅とお店の往復もサポートします。「日々、医療者やヘルパーさんと子どものケアの話をする事しかないので、学生さんやお店の方との何気ない雑談がとっても楽しかった」と言っただけだと私たちもうれしいです。当事者や支援者という言葉を超えて、友のようなひとときをすごしたいとスタッフ一同、思っています。



母親向けには「〇〇ちゃんママやお母さんではない”わたし”に戻る時間を楽しんでもらいたい」という想いから、「ROSEGALLERY 銀座」と「資生堂パーラー」を貸し切り、プロによるヘアメイクやアフタヌーンティーを楽しむイベントを行ったり、表参道にある「MiMC」と「ニールズヤード」の協力を得てメイクレッスンを開催。唯一のルールはお互いを「〇〇ちゃんママやお母さん」と呼ばないこと。子どもの話はなるべくしないこと。これがなかなか難しいのですが、”わたし”の心にわがままに、”わたし”を大切にしてもらいたいのです。



父親向けには六本木にある有料の書店の「文喫」を舞台に、本や言葉を通じて自分と向き合う時間も提供しています。父親たちは子どもの病気や障害について改めて話す場というのはほとんどなく、だれにも弱音を吐けない状況にあるともいわれています。改めて相談する場を設けるといっても、本や花といったほっとするコンテンツの力を借りながら自分を研ぎ澄ましていくことが大切だと考えています。「その場にいる参加者がお互いの背景を深く語り合わなくても、なんとなく同じような状況の人が集まっている、とわかっているだけでも力になる」とも参加者からは伺います。

ほかにも、京都にある世界遺産の仁和寺や佐賀の武雄図書館で著名な方を招いてのインクルーシブイベントなども開催しており、2019年に活動を始めてから開拓したおでかけしたスポットは14か所、のべ955名の方が参加してくれました。



## ■ 未来をかえる、ひとときを

東京おでかけプロジェクトで過ごすひとときは、ほんのひとときかもしれません。でも、このひとときでどれかの未来が変わったら。「新しい友」ができる、もうひとつの場所になれたら。そして、街の人たちの目が変わるきっかけになったら。

そんなあしたを描きながら、東京おでかけプロジェクトは病気や障害がある方とご家族のみなさんとともに、「行ける場所より行きたい場所」を目指してこれからも冒険します。



第 1399 回 2025 年 2 月 12 日 (水)

## オンライン例会

司会進行

点鐘

我らの生業

会長報告

幹事報告

西村美智子会員

海江田健司会長

海江田健司会長

中野 広行幹事

### 会長報告 海江田 健司会長

- ・次週オープン例会です。現時点ゲストは 1 名です。皆様ご紹介の方、よろしくお願ひいたします。
- ・4 月 24 日の地区大会の出欠連絡がまだの方は早急に事務局までご連絡ください。
- ・クラブ戦略委員会の会員アンケートですが、ご回答がお済みでない方は本日中午にご回答いただきますようよろしくお願ひします。

### 幹事報告 中野 広行幹事

- ・次週の例会は 2 月 19 日、東京ドームホテルで開催いたします。よろしくお願ひします。
- ・2025-26 年度版ロータリー手帳の注文受付案内を事務局からメールしています。購入希望の方は 2 月 25 日までに事務局までお知らせください

### 今後の予定

- 2/26 (水) (於)帝国ホテル  
千代田 6 クラブ合同例会
- 3/ 5 (水) (於)東京ドームホテル  
株式会社国際不動産エージェント  
代表取締役社長 市川 隆久様
- 3/12 (水) (於)東京ドームホテル B1F「オーロラ」  
東京神田 RC 合同例会  
米山奨学生 レートウイチャンさん  
「ベトナム人学生の視点から見る日本の魅力」

## 書肆 高山本店と 神田古書センターの歴史 高山 肇会員

本日はいい機会を頂いてありがたく思っています。奇しくも昨日の建国記念日が「神田古書センター」の開店の記念日として、後半のところで古書センター47年の歴史についてもお話をさせていただきます。

さて、今 NHK の大河ドラマ「べらぼう」が放送されています。あまり視聴率は良くないようですが、現在の出版業、そして本屋のビジネスの歴史につながる事と思ひ注目しています。高山本店の屋号の頭についている「書肆」という言葉もこの頃盛んに使われる様になり、古書店、書店だけではなく出版業等、広く本のビジネスに関わる業態の総称だった様です。高山本店の創業は福岡の久留米で、明治以前まで弓の修理や販売を営んでいたと聞いてきました。初代の高山清次郎が明治になり弓の商売から古書に変えて今までの顧客だったお侍さんを相手に売り買いを始めたのが明治 8 年だったと伝わっています。

その後、清次郎のつれあいが明治 19 年に 27 才の若さで他界した事を機に久留米に見切りをつけて明治 27 年から 28 年あたりに神保町に、2 代目の高山清太郎を連れて上京してきます。その頃の神保町は、明治 25 年に神田で大火事が発生し、中央大学や三省堂書店も含め、駿河台、神保町の大部分の店舗が被害にあいます。(4,000 軒焼失)

その後の復興の機会に高山清次郎、清太郎親子は店を持ったようで、明治 36 年の神田古書店地図に初めて高山本店が載るようになりました。

2 代目高山清太郎の時代になり、当時は大学の教科書を独自の方法で仕入れ、当時神保町の町にあふれかえっていた大学生に売りまくり、大きな商売ができたようです。2 代目の清太郎とつれあいの間には、子供は娘が一人しか生まれず、養子を取ることにになりました。いろいろと評判を聞いて探しているうち、当時の八木書店の店員をしていた富三男を見つけ、また、書店の業界の体育大会の短距離走で優勝したことを機に、八木書店の現在の壮一会長のお父様の八木敏夫さんと掛け合って高山家に養子に来てもらいました。

2 代目の高山清太郎は自分が中学生の時に他界しましたが、豪放磊落な人柄で、業界の役員もやっていたおかげで、79 才で亡くなった葬儀には、会場となった高山本店に、驚く位の参列者が来ました。

そして 3 代目高山富三男の時代です。現在の高山本店の骨格は高山富三男が作ってきました。今に続く武道書や能楽関係書の取扱いは、高山富三男が作り上げてきました。特に歴史作家の先生方に気に入られ、柴田錬三郎さん、大岡昇平さん、瀬戸内晴美さん。そして司馬遼太郎さんのご自宅には、父親と納品に出かけて行きました。特に司馬先生には可愛がっていただき、「街道をゆく 神田界限」には店のことを書いていただき、今でも時折、司馬先生のファンが訪ねて見えます。高山本店の歴史の中でも一番輝いた時代でした。

さて、私の時代に入ります。神保町の古書店街は太平洋戦争では空襲にあわずに済んだおかげで、昭和40年代、私の店も関東大震災の復興で建てた5軒長屋でした。折しも、昭和46年から始まった都営新宿線の工事では、店の軒先まで掘削の工事が入り安普請の木造店舗は倒壊寸前まで追い詰められ5軒長屋の古本屋で相談し始めましたが、結果的には北澤書店との共同ビルを建設する事になりました。当会の会員の今本義子さんのお父様の北澤龍太郎さんとは毎日のようにゼネコンの五洋建設の設計士と会合を持って話を詰めていきました。

当初五洋建設は1階を店舗、2階から9階は事務所とセオリー通りの提案をしてきましたが、自分の考えは神保町の街はこれからも古書店がリードしなくては発展しないと思い、ビルを名称を「神田古書センター」そして名前の通り大部分のフロアを古書店に入ってもらいました。一緒にこの計画を進めてきた北澤龍太郎さんから大きな賛意を頂いたのが励みになりました。

神保町には約120軒の古書店がそれぞれの専門性を持って営業しています。古書センターも地方の古書店も含め、現在も個性的な古書店に入ってもらっています。

もう一軒、エポックメイキングなテナントさんが「ボンディ」です。前から考えていた英国風のカレー店にテナントに入ってもらおうと思い自分がロンドンで食べ歩いたカレー店のイメージに近いカレーを探して、その当時、高島平で営業していた「インディラ」というカレー店を人づてに聞いて訪ね、これならいけると思い、何度も説得に足を運びました。オーナーの村田さんも男気ある人で「自分も高山君にかける」と言って頂いて、立派なお店をオープンできました。今「ボンディ」は古書センターの中で一番の繁盛店です。土日は一日中50名を超す行列ができています。そしてこの「ボンディ」の成功を機に、神保町には200軒を超えるカレーのお店が出店しています。

今、自分は千代田区商店街連合会の会長を仰せつかっています。千代田区だけで25を超える再開発が進んでいます。どうやって古くから続けているお店の良さを残しながら街を更新していくかが大きな課題だと思っています。行政の、そしてデベロッパーの責任もあるでしょう。同時にお店を続けていく熱意が必要だと思っています。神保町の街づくりが古書店街の存続も含め試されていると思っています。ご清聴、ありがとうございました。



高山 君江様(お母様)と高山 肇会員